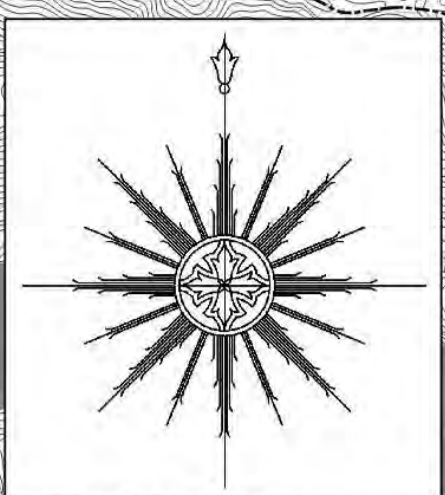
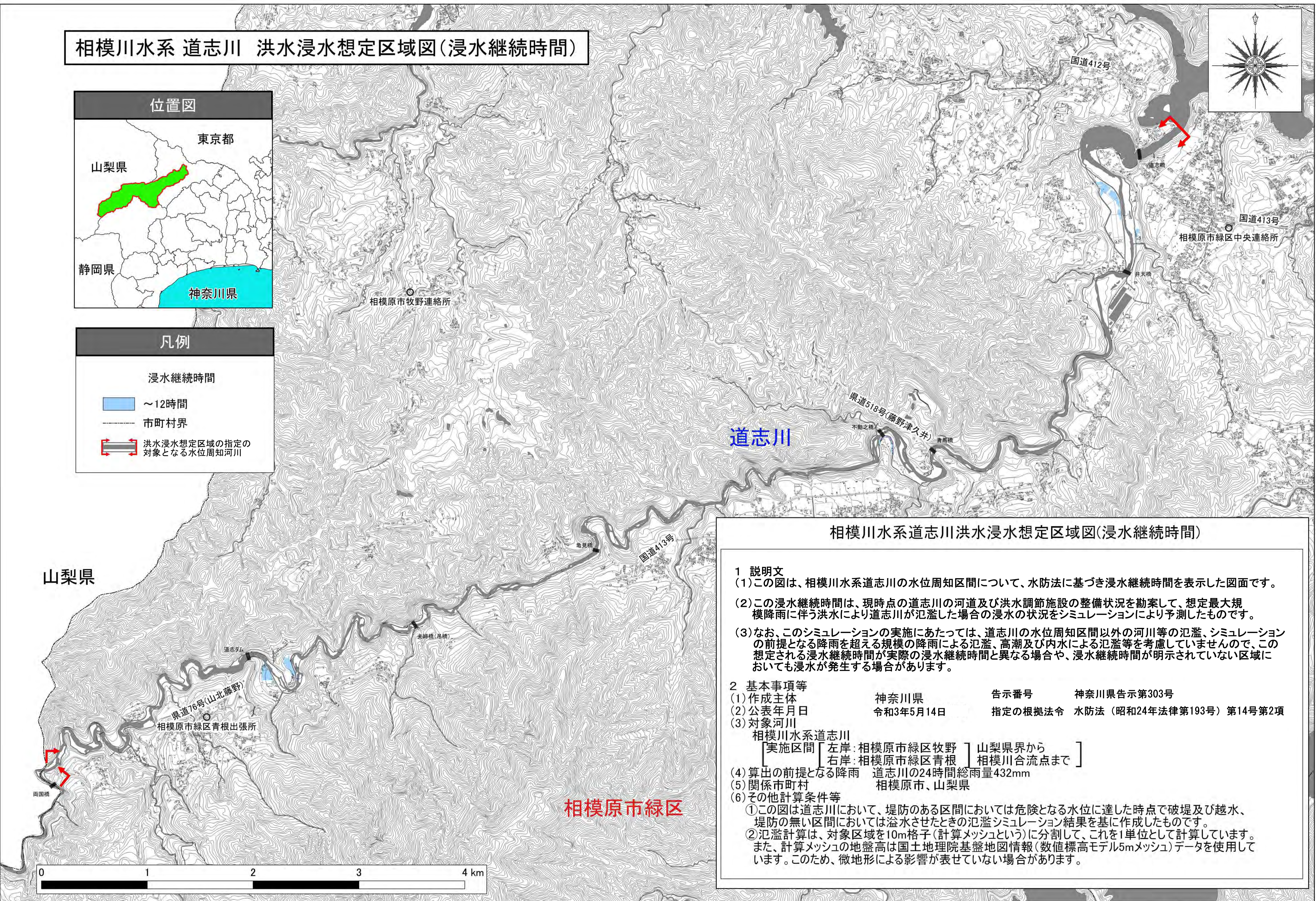
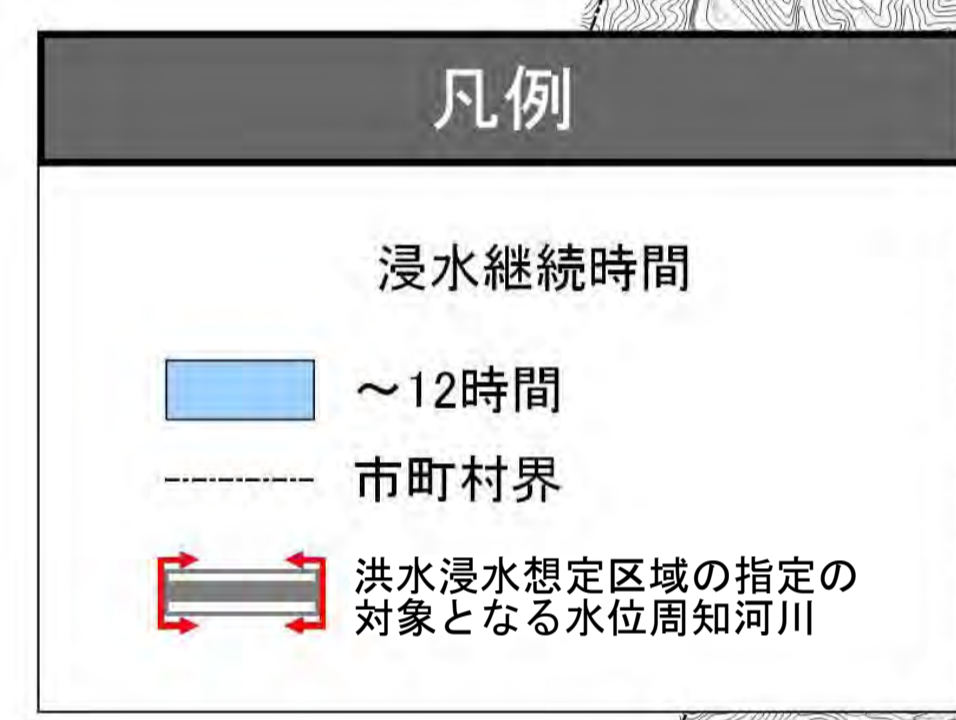


相模川水系 道志川 洪水浸水想定区域図(浸水継続時間)



相模川水系道志川洪水浸水想定区域図(浸水継続時間)

1 説明文

(1)この図は、相模川水系道志川の水位周知区間について、水防法に基づき浸水継続時間を表示した図面です。

(2)この浸水継続時間は、現時点の道志川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、想定最大規模降雨に伴う洪水により道志川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。

(3)なお、このシミュレーションの実施にあたっては、道志川の水位周知区間以外の河川等の氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この想定される浸水継続時間が実際の浸水継続時間と異なる場合や、浸水継続時間が明示されていない区域においても浸水が発生する場合があります。

2 基本事項等

(1)作成主体	神奈川県	告示番号	神奈川県告示第303号
(2)公表年月日	令和3年5月14日	指定の根拠法令	水防法(昭和24年法律第193号)第14号第2項
(3)対象河川	相模川水系道志川		
	実施区間 [左岸:相模原市緑区牧野] 山梨県界から		
	[右岸:相模原市緑区青根] 相模川合流点まで		
(4)算出の前提となる降雨	道志川の24時間総雨量432mm		
(5)関係市町村	相模原市、山梨県		
(6)その他計算条件等	①この図は道志川において、堤防のある区間においては危険となる水位に達した時点で破堤及び越水、堤防の無い区間においては溢水させたときの氾濫シミュレーション結果を基に作成したものです。		
	②氾濫計算は、対象区域を10m格子(計算メッシュという)に分割して、これを1単位として計算しています。また、計算メッシュの地盤高は国土地理院基盤地図情報(数値標高モデル5mメッシュ)データを使用しています。このため、微地形による影響が表せていない場合があります。		